

バスラ日誌（6月10日）

- 1 タ方の電話会議を聞いている方には、ここ数日会議を仕切る[]の懐かしい声が聞こえていることと思う。[]幕僚長が留守の間、幕僚長の代行を務めているということだが、最近の事案多発の責任を問われて幕僚長更迭などと心配していたところだった。一昨日、ザルカウィ容疑者が死亡したニュースが大きく取り上げられたため、やや陰が薄れてしまったが、治安関係3閣僚の指名及び議会承認が済み、名実ともに正式政府が発足した。我が国にとってはこちらの方がビッグニュースであったと思う。アブダル・アルカディール・ジャシム (Abdul Al-Qadir Jassin) 新国防相は、スンニ派で政党には属さず、バスラ県のスンニ派に影響力を行使できるとしてバスラ県の治安改善にも期待がかかっている。バスラの治安悪化対応策は、既にマリキ首相の非常事態宣言に基づき、イラク警察による警備強化等の対策がとられている。また、南部4県で最も信頼性が低いと言われる警察力を補完するため、イラク第10師団は他県3個旅団から1個中隊ずつを抽出して、第1旅団を増援し、第1旅団の2個大隊と併せて3個大隊の勢力で任務にあたっている。早速その効果が現れているのかどうかはわからないが、ここ数日バスラ県は比較的平穏である。バスラ基地に対する攻撃も18日間なく、静かな日々を送っている。（こういうことを書くとすぐ攻撃されるので、敵もLO報告を読んでいるのかもしれないが・・・）[]
- 2 先日、小瀬隊長に訪問していただいたJHF指揮官の[]は、本日で任務を終え後任者と交代するそうである。昨日のうちに日本隊としての支援要望等について説明し、担当者からは概略の同意を得ていたの得上・下番指揮官の申し送りに併せて情報を提供でき、隊長の訪問を含めてベストタイミングであったと思う。JHFは先月から27機のヘリを15機まで計画的に（1機は損耗）削減しており、その状況は隊長も直接ブリーフィングを聞かれて了解して頂いている。本今朝、次のJHF指揮官には紹介していただき、御挨拶もさせて頂いた。名前は、ちょっと早口であったことと、基本的に外国の方の名前を覚えることが苦手であるため、正確には把握できていない。後日、名簿が変更されたならば確認して報告する。

※ 本日は晴。バスラムを巡って静寂

スミッティLO日々業務報告(6月10日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし: [] Threat Level []
2 特記事項	サマーワ市街西方(線路西道沿い)に於いて発見された不審物に関して重点的に情報収集を実施 (1) 情報要求対応等
3 本日の業務	サマーワ市街西方(線路西道沿い)に於いて発見された不審物情報、サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 J9経路変更関連、明日以降の豪軍支援要請関連、COOPERATIVE ZONE MAP関連、豪軍要望事項関連、 兼支隊長・政策アドバイザー等キャンパスミッティ訪問関連等 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等参加 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし